



二重弁となる不完全開花の八重桜

宗堂の桜



指定区分	県指定天然記念物
読みかた	そうどうのさくら
所在地	岡山市東区瀬戸町宗堂
指定年月日	昭和31年4月1日
解説	花は小さく、横向きに着花し、花弁の数は60枚もあり、その中の20枚くらいが内に向かって屈曲して二重の弁となるのが特徴の八重桜。全く実を結ばないめずらしい桜である。この桜を植え、かわいがっていた僧侶の死を悲しみ、花弁の一部が内にまき込み、実を結ばなくなったという言い伝えがある。普通の桜より見頃が遅く、通常は4月の中旬ごろまで花を楽しむことができる。
アクセス方法	JR瀬戸駅から車で10分
公開状況	自由
設備	駐車場  
備考	4月中旬には宗堂さくらまつりが開催されます。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定天然記念物
ぶんかざいめい (文化財名)	宗堂の桜
よみかた	そうどうのさくら
しょざいち (所在地)	岡山市東区瀬戸町宗堂
していたひ (指定した日)	昭和31年4月1日
せつめい	八重桜(やえざくら)の一種(いっしゅ)です。花びらが60枚(まい)もありますが、その中の20枚は内側(うちがわ)に曲(ま)がっています。さらに、実を結ばなくなっためずらしい桜です。この桜を植(う)え、かわいがっていた僧侶(そうりょ)が死(し)んで、桜が悲(かな)しんでこのようになったという言い伝(つた)えがあります。